

＜＜輸送の安全に関する取り組み＞＞

送迎バスの乗務員に対する研修を実施しました

令和 7 年 5 月 20 日実施

1 危険の予測及び回避と緊急時対応

＜危険予測運転の必要性＞

＜危険予測のポイント＞

＜緊急時における適切な対応＞

2 事故の再発防止

3 車内置き去り防止対策

子供の命を守ることが一番大切です。車内確認の徹底をお願いします。

特にこれからの季節は車内が暑くなりますので、子供の置き去りは命にかかわります。

子供が車内に居ないことを確実に確認して下さい。

朝 車庫に戻ったら車内の後部まで行って、子供と忘れ物の確認をする。

帰り 1 運行ごとに最終地点で車内の後部まで行って、子供と忘れ物の確認をする。

4 ヒヤリハット

事故に遭う恐れのある危険な状態を、常に予測しながら運転を行い、万一、ヒヤリハットするような状況になっても余裕を持って回避できるか、そうではなく漫然と運転をつづけ、ヒヤリハットするような状況であわてて回避しようとするかで、事故を起こす確率は大きくかわる。ヒヤリハットと取り組むのは、ドライバーの危険感受性を向上させるためである。運転中のさまざまな危険な場面や状況をドライバーが認識することによって、危険への気づき、つまり危険感受性が高まれば、事故の予防へ貢献することが大いに期待できる。



事故防止に向けた心構えを改めて講話した上で、事故発生時の対応として負傷者の救護・二次被害の防止措置、火災発生時の消火活動について学びました。

また、車内置き去り防止対策についても、被害児童の命を奪う危険性が極めて高い最も重大なものとして、十分に確認をするよう指導しました。

今後も無事故を徹底し、安全運行を続けていきます。

